

灘中校長室だより 令和8年10月27日

## みんな Na 元気 Da

TEL : 0827-32-0211 Fax : 0827-32-0214

E-mail : nada-j@iwakuni.ed.jp

～地域を愛し、地域からも愛される、活力と感謝のあふれる学校～



校長 河村 泉

校長室から見える銀杏の木が、日増しに黄色みを帯びてきています。これからは、ひと雨ごとに気温も下がり、秋の深まりが一層際立っていくものと感じるこの頃です。

先日開催した文化祭につきましては、多数の保護者・地域の皆様にご観覧いただき誠にありがとうございました。

今年の文化祭スローガンは、『百花繚乱～努力の積み重ねが花咲かせる～』というものでした。「百花繚乱」という言葉には、色とりどりの花が美しく咲き乱れるという意味以外にも、「素晴らしい作品や成果が生み出されて活気があふれる様子」という意味もあります。さらに、～努力の積み重ねが花咲かせる～という副題もつき、まさに、スローガン通りのステージ発表、モザイクアートや各種展示作品の数々となりました。

ステージ発表の中で、とりわけ全校生徒が努力を積み重ねたものが「合唱コンクール」です。校舎には本番のステージ2週間前から、日々合唱の歌声が響く素敵な空間が広がります。はじめは音程も不安定であったのに、日ごとに音取りの正確さが増していき、美しいハーモニーができはじめる。そして、合唱委員や各パートリーダー、指揮者や伴奏者といった合唱リーダーたちの前向きな言葉かけがどんどん聞こえてくるようになる。さらに、休み時間に曲を口ずさみながら、次の授業へ向かう様子が見られるなど、自分のクラス合唱曲への愛着が高まっていくのが感じられるようになります。そのような状況を捉えると、合唱コンクールは、その学年の、そのクラスの仲間としか創れない、唯一無二の作品披露の場であると言えます。また、学年が上がるにつれて、その意義や価値を生徒自身が強く認識し、合唱コンクールへかける生徒たちの思いは高まります。そして、その思いは先輩たちから後輩たちへと、脈々と受け継がれていくものだと考えています。

今年の合唱コンクールも、各クラスの魂を感じる素晴らしい演奏でした。殊に3年生の合唱は聴き応えがありました。審査の結果はさまざまで、思いどおりの結果を得ることができなかったクラスもあるでしょう。ただ、金賞をとること、合唱祭に出場することだけが全てではありません。よりよい合唱を創り上げようと仲間と努力を積み重ねてきた時間、深まった絆、これこそが最も尊くかけがえないものです。全校生徒には、このことを忘れないでほしいと思っています。そして、どのクラスもその尊い価値を得ていることは間違いありません。

また、地域の皆様には、藤生神楽の賛助出演をいただきました。地域の伝統芸能に関心をもち、継承していく中学生がいるのは大変好ましいことだと感じています。また、展示作品にもご協力いただき、手鞠、俳句、絵手紙など、格調高く味わい深い作品を鑑賞させていただきました。誠にありがとうございました。

さて、話題を転じます。

この度、本校は、岩国健康福祉センター環境衛生連絡協議会から、『清掃美化優良団体』として表彰されました。これは「青木海岸清掃などの美化活動に参加し地域の環境保全に貢献していることや、使用済みカイロの再資源化にも取り組んでいること」が認められたことによるものです。また、昨年度から、生徒が運営側の一員として参画するなど、美化活動に留まらず、次世代の環境意識を高め地域活動の活性化につなげているとして、高く評価を受けました。教職員一同、大変喜ばしく感じるとともに、これもひとえに、日頃から、地域の皆様に学校を支えていただいているお陰であると深く感謝しております。今年も11月1日に予定されている青木海岸清掃。生徒たちには、一層意欲を高め、地域の皆様と心を合わせて活動にあたってほしいと思っています。今年もお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。